障害者等雇用事例周知啓発事業

沖縄県では、障害のある方の就労を応援する情報誌「まじゅんワーク」を関係機関の協力の下、発行しています。「まじゅん」とは、ウチナーグチで「共に」「一緒に」を意味します。「まじゅんワーク」は、障害のある方と健常者とがお互い支え合いながら“共に歩む”職場づくりを応援し、働く人、企業、関係機関や制度などを紹介してまいります。この誌面を通じ、障害者雇用の支援の輪が広がることを願っています。

平成27年（年4回発行）10月号

まじゅんワ～ク

【発行】沖縄県 商工労働部 雇用政策課
TEL…098-866-2324
FAX…098-866-2349
mail…aa059100@pref.okinawa.lg.jp
【編集・制作】株式会社 琉球新報開発

みんなでグッジョブ運動 沖縄県産業・雇用拡大県民運動

国頭村森林組合
山内（やまうち） 浩昌（ひろまさ） さん

国頭村森林組合で製材作業に従事する山内浩昌さん。勤続年数は21年になり、現場ではたくさんの木材に囲まれながら作業を丁寧に進めています。長年の努力が認められ、今年度、優秀勤労者として独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞を受賞。障害を持って働く方の模範となっています。

「入社当時は、製材を並べるだけでも苦労していた」とのことですが、現在では木材加工機器の操作を任されるなどベテランの一人として職場に大きく貢献する存在になっています。

日頃から仕事を見守る同組合の比嘉進氏によると、高い技術と豊富な経験が必要とされる品質確認作業も的確に行い、後進の指導にも積極的と評価しています。

山内さんが責任者として製造している木材は、主に県内の住宅や学校、レストランで使用する薪等、幅広い場所で使われています。

現在、母親と二人で生活する山内さん。「これからも一生懸命働いて、家族や仲間に恩返ししたい」と語っていました。

障害者雇用の広がる！わ

9月は「障害者雇用支援月間」です。月間に際し、様々な機関が行った障害者雇用支援のための行事をご紹介します。

経済団体に対する障害者雇用要請

平成27年9月3日(木)

9月3日、那覇市の沖縄産業支援センターにて、県、教育委員会、沖縄労働局、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄障害者職業センターの連名により、沖縄県経営者協会等の経済団体6団体に対し、障害者雇用の促進の要請が行われました。

要請団を代表し、浦崎唯昭副知事が積極的な障害者雇用の要請文を手交し、生徒代表の県立泡瀬特別支援学校3年生富田麻愛さんも就業体験実習の受け入れ、採用枠拡大を訴えました。要請を受け、一般社団法人沖縄県経営者協会安里昌利会長は「企業側も積極的な雇用に取り組みたい」と話し、参加者相互で障害者雇用の現状と課題について意見を交わしました。

平成27年10月3日(土) 第10回 雇用・就労支援フォーラム

10月3日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて、第10回 雇用・就労支援フォーラム（主催／沖縄県中小企業家同友会、健障者委員会、雇用・就労支援フォーラム実行委員会　共催／沖縄県、宜野湾市）が開催され、前厚生労働事務次官村木厚子氏による基調講演が行われました。

村木氏は「誰もが働ける社会の実現をめざして～障がい者の「働く」を支えるとは～」をテーマに、自身の厚労省での経験等を踏まえ、障害者雇用・福祉にかかる制度の変遷や内容、障害者雇用促進法や法定雇用率、障害者雇用の好事例等をわかりやすく説明しました。また、企業、障害者雇用の支援者に向けてのメッセージを述べ、全員参加型の共生社会作りを訴えました。フォーラムでは基調講演の他、沖縄労働局長による県内の障害者雇用の現状説明、就労者の体験発表や、5つの分科会、交流懇親会等のプログラムが組まれ、565名の参加者が障害者雇用について理解を深めるものとなりました。

平成27年9月11日(金) 障がい者就職面接会

9月11日、自立を目指す障害者と障害者雇用を検討する企業を結びつけることを目的に、「障がい者就職面接会」が沖縄コンベンションセンターで開催されました。（沖縄労働局、ハローワーク、沖縄県の主催）面接会には238人の求職者と48企業が参加すると共に、多くの支援者や見学の特別支援学校生徒が訪れました。

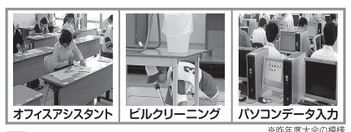
この日のために支援施設等で面接の訓練を積んできたという求職者も多く、会場では、求職者が面接官に働く意欲等を熱心に訴える姿、時間をかけ丁寧な面接を行う企業、少し離れて見守る支援者の姿等が見られ、静かな熱気が感じられる一日となりました。

平成27年9月10日(木) 特別支援学校就業支援キャンペーン

県教育委員会主催による特別支援学校就業キャンペーンが9月10日に行われ、行政、学校、PTA等の関係者がリウボウストア（那覇）、沖縄トヨペット（浦添本社）等を訪問しました。

生徒代表の沖縄高等特別支援学校（南風原分教室）3年山内裕介さんは、現在、沖縄トヨペットで実習を行っており、「しっかりと技術を身に着け、就職につなげたい」と意気込みを語り、各企業に対し、障害者への理解と雇用促進を求めました。

第15回沖縄県障害者技能競技大会（地方アビリンピック）参加選手募集!!



※昨年度大会の模様

種目
《知的障害の方》
パソコンデータ入力（Access2010アンケート入力・伝票修正等）
《身体・知的・精神障害の方》
ワードプロセッサ（Word2010文章の作成・編集作業等）
ビルクリーニング（ごみ処理から床面の掃き作業等）
喫茶サービス（飲料接遇サービス）
表計算（Excel2010関数式による表の完成等）
オフィスアシスタント（文書の三つ折・封入作業等）

日時：**平成27年12月5日(土)10:00～16:00**
会場：**独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部 沖縄職業能力開発促進センター**（ポリテクセンター沖縄）
北谷町字吉原728-6
主催：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部
共催：沖縄県
参加希望される方は、高齢・障害者業務課 島津・川上までご連絡ください。
TEL：098-941-3301　FAX：098-941-3302

障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例のご紹介

（共生社会条例）（平成26年4月施行）

合理的な配慮の提供について

この条例では、障害のある人に対する不当な差別的な取り扱いを禁止するほか、障害のある人から何らかの配慮を求める意志の表明（＊）があった場合には、事業主の過重な負担にならない範囲で支障となっている事情等を改善するために必要かつ適当な変更や調整などの合理的な配慮を行うことが求められます。こうした配慮を行わないで、障害のある人の権利利益が侵害される場合も差別に当たります。

（＊）本人が配慮を求める意志を表明することが困難な場合には、家族などが本人を補佐して意志の表明をすることもできます。

《職場における合理的な配慮として好ましい例》

◎肢体不自由…移動の支障となるものを通路に置かない。机の位置や打ち合わせ場所を工夫する。
◎視覚障害…拡大文字や音声ソフト等の活用により業務が遂行できるようにする。
◎聴覚・言語障害…業務指示・連絡に際して、筆談やメール等を利用する。
◎知的障害…図等を活用した業務マニュアルを作成する。業務指示は内容を明確にし、1つずつ行う等作業手順を分かりやすく示す。
◎精神障害や内部障害…出退勤時刻や休暇、休息に関し、通院・体調に配慮する。

※右記はあくまで一例です。どのような配慮が合理的な配慮に当たるかは個別のケースで異なりますので、配慮を求める方との十分な話し合いが必要です。

○この条例の詳細については沖縄県障害福祉課ホームページでご覧いただけます。○
<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/shogaifukushi/index.html>

沖縄県障害者雇用優良事業所・優秀勤労障害者表彰

9月11日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて、平成27年度沖縄県障害者雇用優良事業所・優秀勤労者表彰式が行われました。

障害者を積極的に雇用している事業所、長年勤続し他の模範となる障害者、また障害者雇用促進と職業安定に貢献した団体・個人が表彰されました。

沖縄県知事賞
◎**優秀勤労者**
當銘 健二さん（リューセロ株式会社）
◎**障害者雇用優良事業所**
株式会社プロトデータセンター

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞
◎**優秀勤労者**
山内 浩昌さん（国頭村森林組合）
◎**障害者雇用優良事業所**
株式会社サンエー
◎**障害者雇用の促進と安定に貢献した団体又は個人**
翁長　克さん（トータルサポート商会代表）

だれよりも早く出社 プライベートも充実。

リューセロ株式会社
當銘（とうめ） 健二（けんじ） さん

今年度、優秀勤労者として沖縄県知事賞を受賞した當銘健二さん。糸満市のリューセロ株式会社で主に包装材の製造を手掛けています。勤続年数は23年、平成24年には独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞も受賞しています。

當銘さんは、西崎養護学校卒業後、平成4年に同社に入社。当時から當銘さんを見守りサポートしてきた取締役業務・生産本部長山口さんは、彼の仕事ぶりについて、「他の社員の良い見本となってくれている」と絶賛しています。

入社以来ほぼ無遅刻・無欠勤で、常に真面目に仕事に取り組む當銘さんの存在は、職場の雰囲気を和らげモチベーションを高めています。柔和な笑顔で女性社員からは「工場のアイドル」と親しまれているとのこと。

趣味はランニングで、アフターファイブに走ることで心身を鍛え、那覇マラソンをはじめ、大会にも多数出場。今回の受賞にも「当たり前のことをいつもしているだけ」と謙遜しながら、「更に仕事に励み定年を過ぎても働けるよう健康に気を付けて頑張りたい」と抱負を語りました。

現場責任者の嘉手川さんも當銘さんの働きぶりを高く評価しています。

「朝は一番早く出社し、社内清掃や作業の準備をしてくれます。苦労も厭わず積極的に仕事に取り組んでおり、女性社員に代わって重い荷物を運んであげるなど思いやりのある行動もよく見かけます」

當銘さんが自主的にスタッフルームの清掃を始めたのをきっかけに、これまで乱雑なまま放置されていたスタッフルームを当番制で定期的に清掃する、社内の新たなルールが生まれたそうです。

優秀勤労者が働く企業の声

リューセロ株式会社
生産部長
嘉手川（かでかわ） 竜次（りゅうじ） さん

株式会社プロトデータセンター
管理部／人事課長 名嘉（なか） 隆二（りゅうじ） さん

データソリューション、WEBソリューション、テレマーケティングなど幅広い業務を行う株式会社プロトデータセンター。障害者に配慮した職場環境作り、積極的な障害者雇用が評価され、今年度、障害者雇用優良事業所として沖縄県知事賞を受賞しました。

同社では2008年に障害者雇用プロジェクトを立ち上げ、平成27年6月1日現在、13人の障害者を雇用。その経験から、県内で雇用に関する講演を行い、障害者雇用の推進に力を入れています。「昨年には『子育てサポート企業』として認定され、『くるみんマーク』も取得しました。障害者はもちろん、どんな環境・状況の方でも働きやすい会社を目指しています」

2009年に建設された「プロト宜野湾ビル」は全館バリアフリー、身障用トイレも完備されています。

「企業として当然のことをしているだけですが、評価していただけたのは社にとって、またスタッフにとっても喜ばしいことです。障害者雇用の輪がさらに広がるよう、外部へ向けても更に働きかけていきたいと考えています」

ご感想お待ちしております！

Tosho Card 全国共通図書カード

ご感想や、障害者雇用についてとりあげてほしいトピックをお送り頂いた方の中から、抽選で5名様に図書カードプレゼント！

ご感想の送付先
「まじゅんワーク」ご感想係
〒900-0001 沖縄県那覇市港町1-16-1（7階）
TEL…098(865)5262
FAX…098(865)5281
mail…majyun@shimpo-k.co.jp
メールからのご感想はQRから→